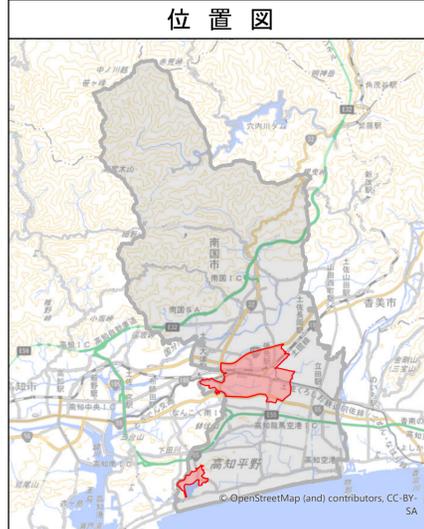


位置図



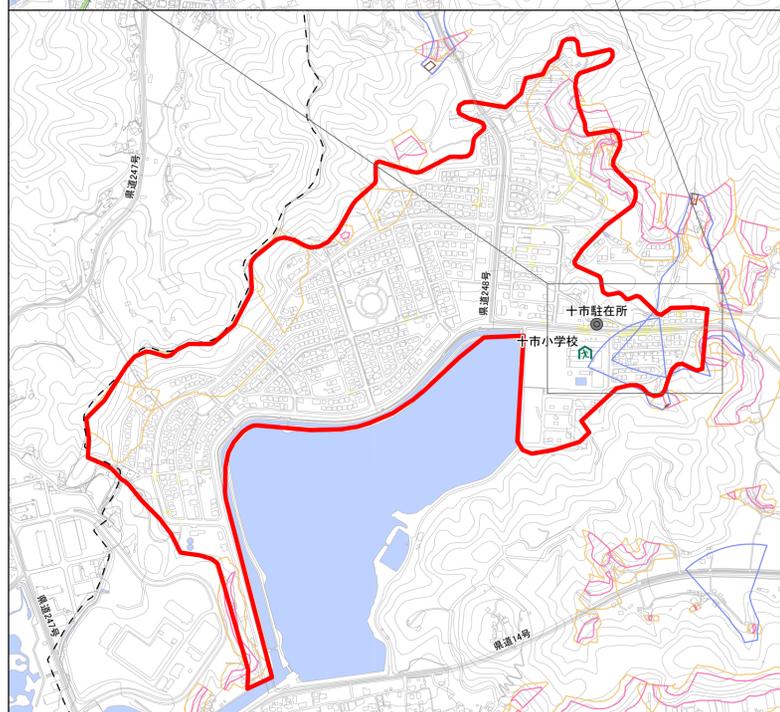
南国市内水ハザードマップ  
(雨水出水浸水想定区域図)  
【想定最大規模降雨】  
令和8年2月作成

●防災拠点一覧

施設名	所在地
南国市役所	大さね甲2301
南国市消防本部	篠原164-1
南国警察署	大さね乙799-1
岡豊駐在所	岡豊町八幡127-1
十市駐在所	緑ヶ丘1-1501-3

●指定避難所一覧(事前開設)

施設名	所在地
SUNSUNながおか	下末松104-2
長岡西部体育館	元町2-4-2
野田公民館	下野田267-1
後免町防災コミュニティセンター	後免町2-1-12
南国市地域交流センターMIARE!	大さね甲2117
十市小学校	緑ヶ丘1-2001



1. 説明文

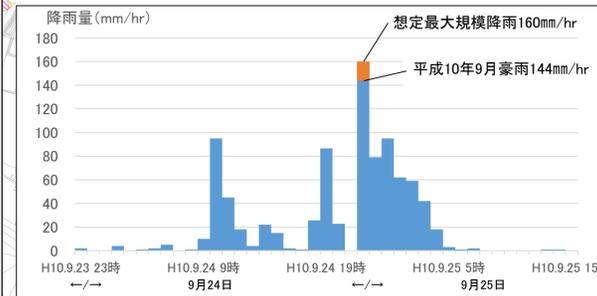
- この図は、南国市内において水防法の規定に基づく想定最大規模降雨(1時間雨量160mm)が発生した場合に内水浸水が想定される範囲や深さを示した図面です。
- この図は、想定最大規模降雨(1時間雨量160mm)に対して令和6年度末時点の水路・ポンプ場等の下水道排水施設等によって排水しきれなくなった場合の内水氾濫時における浸水状況を雨水流出解析に基づき想定したものです。
- この浸水想定において、河川の氾濫による浸水は考慮していません。ただし、河川や海域の境界では、河川の増水による水位上昇を考慮し、下水道排水施設等の水はけが悪化した場合の内水浸水を想定しています。
- 雨の降り方、河川の水位上昇等の条件によっては、雨水出水浸水想定区域内で着色されていない箇所においても浸水が発生するなど、実際の浸水状況と異なる場合があります。
- 南国市公共下水道の全体計画区域周辺(雨水)が浸水想定の対象区域となります。

2. 基本事項

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 作成主体       | : 南国市  |
| (2) 指定の根拠法令    | : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項   |
| (3) 指定の前提となる降雨 | : 想定最大規模降雨(ピーク時の1時間に160mmの降雨)  |
| (4) 対象区域       | : 南国市公共下水道全体計画区域周辺(雨水)   |
| (5) 浸水想定手法     | : 雨水流出解析モデルを用いた内水浸水想定<br>(管内水理及び地表面氾濫解析一連または排水能力を超えた溢れる雨を地表面に降らせた氾濫解析) |

■浸水想定に用いた降雨(総降雨量895mm、最大時間雨量160mm/hr)

高知県内で大きな被害が発生した平成10年9月豪雨('98豪雨)における最大時間雨量144mm/hrを水防法に基づき160mm/hrに置き換えた降雨としています。



- 凡例
- 浸水範囲と浸水の深さ
    - 1.0m~3.0m未満
    - 0.5m~1.0m未満
    - 0.3m~0.5m未満
    - 0.1m~0.3m未満
  - 土砂災害特別警戒区域(土石流)
  - 土砂災害警戒区域(土石流)
  - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
  - 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
  - 土砂災害警戒区域(地滑り)
  - 防災拠点
  - 指定避難所(事前開設)
  - 雨水ポンプ場
  - 水位観測所
  - 河川カメラ
  - アンダーパス
  - 国道
  - 県道
  - JR
  - 第三セクター鉄道
  - 対象区域 南国市
  - 行政区画 南国市